

図書館からのお知らせ

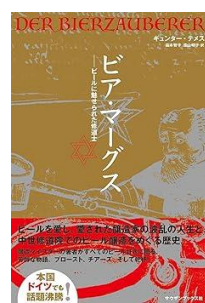
◎第13回となる2023年の広島本大賞が発表され、今回はノンフィクション部門『ある行旅死亡人の物語』（武田惇志・伊藤亜衣/毎日新聞出版）・コミック部門『男子校生の生態』（コンテくん/KADOKAWA）が受賞となりました。ぜひ手にとって読んでみてください。

日の目を見ない本 ～どなたか手に取ってみませんか？～

せっかくの良書なのに、購入してから誰にも借りてもらえていない本を紹介します。気になるものがあれば、ぜひ読んでみてください。
今回は一般書の9・文学からです。



『文豪きょうは何の日?』
立東舎／編
立東舎 リットミュージック（発売）
ある年のある日に、文豪たちがどこで何をしていたのか。作品の発表や受賞といった公的なエピソードだけでなく、恋愛や結婚、学生時代の思い出、日常の悩みなど、文豪をより身近に感じられるエピソードを含めてまとめられている。



『ビア・マーグス ビールに魅せられた修道士』
ギュンター・テメス／著
サウザンブックス社
貧しい農民の子ニクラスは、修道士となりビール造りに励む。教皇も一目置く「ビールの魔術師」と呼ばれるまでになった彼に敵意を燃やし、執拗に命を狙う者が…。中世修道院でのビール醸造をめぐる物語。



『飢渴の人 エドワード・ケアリー短篇集』
エドワード・ケアリー／著
東京創元社
「堆塵館」「おちび」で世界の読書家を虜にした鬼才エドワード・ケアリー。単行本未収録の9篇とアンソロジー「もっと厭な物語」収録の1篇に、書き下ろし6篇を加えた、日本オリジナル短篇集。著者描き下ろしイラストも収録。

編集後記：

先月の編集後記で秋の訪れを心配していましたが、10月中に急激に秋の気温になりましたね。それどころか、「秋を通り越して冬では？」と思うような日々でした。皆さん風邪など召されていていらっしゃらないでしょうか。わたしは軽くひきました。本格的な冬に備えて、体調管理を万全にしましょうね！

図書館

だより



令和5年11月号
VOL.214

編集・発行

坂町立図書館

〒731-4314

安芸郡坂町坂西一丁目4番16号

TEL082-886-3280

FAX082-885-2471

利用案内

- 開館時間
火～金 9:00～20:00
土・日・祝 9:00～17:00
- 貸出
本、雑誌
ひとり5冊15日間
CD、ビデオ（DVD）
ひとり2点15日間

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

休館日

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日

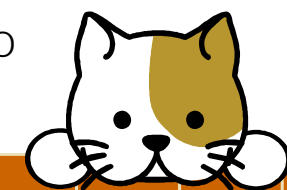
おはなし会

絵本の読み聞かせや紙しばいなどを行います。おはなしの世界を通じて、親子でふれあい、楽しい時間を過ごしましょう。

★ 11月16日（木）くれよんグループ

★ 11月23日（木）にこにこグループ

じかん 10:30～11:00



折り紙体験コーナー

11月15日（水）
10:30～11:30
坂町立図書館 多目的閲覧室

★ ナスのオーナメント

- ※ 持ってくるもの
- ・ おりがみ
 - ・ はさみ
 - ・ のり
 - ・ サインペン

今月のオススメコーナー (テーマ) 『物語の中の高校生』

11月のオススメ図書コーナーは「物語の中の高校生」です。大人と子供の間にいる高校生たち。進路で悩み、恋愛に悩み、人間関係に悩みながら一歩ずつ大人の階段を上っていきます。時にはハラハラ、時にはしんみり、個性的な高校生たちの奮闘を見守りましょう。



この本、おもしろいよ

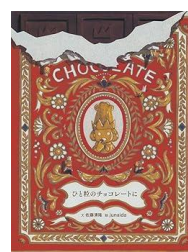
児童書



すかん根っこ 見ながら学習調べてなっとく

大山卓爾 (おおやま・たくじ) 監修 技術評論社

植物の本当の姿を知るには「根っこ」が重要。土のなかに隠れている根っこの姿や役割を、写真やイラストで楽しく紹介する。調べ学習に役立つよう、根っこの観察方法も掲載。



ひと粒のチョコレートに

佐藤清隆 (さとう・きよたか) 文 junaida (じゅないだ) 絵 福音館書店

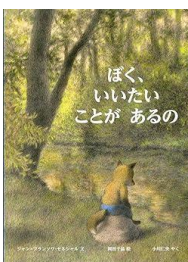
口の中でさっととけて、おいしさが広がるチョコレート。その秘密は原料のカカオの油が持つ不思議な性質にある。だが、その性質ゆえに、人類がカカオに出会ってからチョコレートを作り上げるまでに1万年近い時間がかかり…。



ふしぎな図書館と魔王クライモン 図書館版

廣嶋玲子 (ひろしま・れいこ) 作 江口夏実 (えぐち・なつみ) 絵 講談社 (ストーリーマスターズ 1)

「ヘンゼルとグレーテル」の物語がおかしくなっていることに気づいた宗介。おもしろさをひとりじめしたがる魔王クライモンによって物語から盗まれたキーパーツを探し出し、物語の世界を守ることに…。



ぼく、いいたいことがあるの

岡田千晶 (おかだ・ちあき) 絵 ジャン=フランソワ・セネシャル文 評論社 (児童図書館・絵本の部屋)

しんじられない。おばあちゃんにもう会えないなんて。思い出がこんなにいっぱいあるのに…。大切な人とわかれる気持ちを、キツネの男の子に託して、あたたかく、包みこむように描く。

一般書



謝罪論 謝るとは何をすることなのか

古田徹也 (ふるた・てつや) 著 柏書房

「すみません」では済まないとき、何をすれば謝ったことになる? 責任、償い、約束、赦し、後悔、誠意への懐疑…。謝罪の機能や不適切な謝罪の特徴を解き明かし、学術的な知を総動員して、「謝罪の全体像」に迫る。



平和と美の使者として森下洋子自伝

森下洋子 (もりした・ようこ) 著 祐成秀樹 (すけなり・ひでき) 聞き手 中央公論新社

3歳でバレエを始め、舞踊生活70年を超えてなお輝き続けるバレリーナ・森下洋子が、唯一無二の歩みを秘蔵エピソードとともに語る。『読売新聞』連載を大幅に加筆修正し、書下ろしを加えて単行本化。



泣く男 古典に見る「男泣き」の系譜

寺田英視 (てらだ・ひでみ) 著 文藝春秋

「泣く」のはいい。問題は、何のために泣くかだ。男が泣いてはいけないことになったのはいつからか。須佐之男命から吉田松陰まで、古典に見える「泣く男」の姿百態を辿りつつ、「男泣き」の実相に迫る。



アウシュヴィッツを泳いだ男

ルノー・ルプロン著 吉野さやか (よしの・さやか) 訳 アストラハウス

貯水池に着くと、アルフレッドはノアと一緒にためらうことなく囚人服を脱ぎ、ドボンと水に飛び込んだ。アウシュヴィッツ強制収容所を生き抜いたアルジェリア系フランス人の水泳選手、アルフレッド・ナカッシュの伝記物語。

予約ベスト3

◆一般書

- ・「ヨモツイクサ」
- ・「リラの花咲くけものみち」
- ・「ものがわかるということ」

知念 実希人 / 著
藤岡 陽子 / 著
養老 孟司 / 著

◆児童書

- ・「14ひきのおつきみ」
- ・「目でみるえいごのすかん」
- ・「トゲトゲくんはね、」

いわむら かずお / さく
おかべ たかし / 文
クォン ジャギョン / ぶん